

令和4年度4月入学

帯広畜産大学大学院畜産学研究科

畜産科学専攻博士後期課程

学生募集要項

(外国人留学生特別選抜 (渡日前入試))

Application for Admission to the Doctoral Program of Animal Science and Agriculture

Graduate School of Animal and Veterinary Sciences and Agriculture

Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

Starting in April, 2022

Pre-Arrival Admission for International Students

試 験 日 程

出願資格審査申請期限 (該当者のみ)	令和3年11月4日 (木)	
出願期間	令和3年11月8日 (月) ~令和3年11月18日 (木)	
試験実施日	英 語	出願時に外部試験成績を提出する※
	オンライン 面接	令和3年11月30日 (火)
合格発表日	令和3年12月7日 (火)	
入学手続期間	令和4年3月7日 (月) ~令和4年3月22日 (火)	

※ 英語外部試験については、平成31年4月1日以降に受験したもので、TOEIC L&R (650点以上) (TOEIC-IPも可)、TOEFL-iBT (67点以上)、IELTS (5.5以上) のいずれか一つ。

Entrance Examination Schedule

Deadline for authorization for qualified applicants (If applicable)	Thursday, November 4, 2021	
Application period	From Monday, November 8, 2021 to Thursday, November 18, 2021	
Examination	*English	Submit the original certificate of the exam (TOEIC L&R, TOEFL-iBT, or IELTS) when you apply.
	Online Interview	Tuesday, November 30, 2021
Date of notification of admissions	Tuesday, December 7, 2021	
Enrollment period	From Monday, March 7, 2022 to Tuesday, March 22, 2022	

*The test score must be taken after April 1, 2019.

TOEIC L&R (including TOEIC-IP): 650 or higher

TOEFL iBT: 67 or higher

IELTS Academic-Module: 5.5 or higher

目 次

1 募 集 人 員	1
2 出願資格・要件.....	1
3 出願資格の認定（書類審査）	1
4 障がい等のある志願者との事前相談	2
5 経済的支援制度について	2
6 出 願 手 続	3
7 入学者選抜方法	5
8 試験期日及び試験場	5
9 合 格 発 表	5
10 入 学 手 続	5
11 個人情報の取扱いについて	5
◎ 帯広畜産大学大学院畜産学研究科畜産科学専攻（博士後期課程）案内	6
◎ 出願書類の提出・問い合わせ先	10

Contents

1	Number of Students to be Admitted	11
2	Application Criteria	11
3	Authorization for Qualified Applicants	12
4	Advance Consultation for Applicants with Physical Disabilities	12
5	Financial Support	12
6	Application Procedure	13
7	Method of Selection	15
8	Time, Date and Location of Examination	15
9	Notification of Admission	15
10	Enrollment Procedures	15
11	Privacy Statement	16
	©Description of the Master's Program	17
	©Application and enquiries	22

1 募集人員

専攻・課程	募集人員
畜産科学専攻・博士後期課程	若干人

2 出願資格・要件

次の①、②及び③に該当する者

- ① 日本の国籍を有しない者で、外国に在住している者
- ② TOEIC L&R (650 点以上) (TOEIC-IP も可), TOEFL-iBT (67 点以上), IELTS Academic-module (5.5 以上) のいずれか一つを平成 31 年 4 月 1 日以降に受験し、取得している者
- ③ 次の i ~ v のいずれかに該当する者
 - i 修士の学位又は専門職学位を有する者若しくは令和 4 年 3 月までにこれらの課程を修了見込みの者
 - ii 外国において修士の学位又は専門職学位 (学校教育法第 104 条第 1 項の規定に基づき学位規則 (昭和 28 年文部省令第 9 号) 第 5 条の 2 に規定する専門職学位をいう) に相当する学位を授与された者又は令和 4 年 3 月までに授与される見込みの者
 - iii 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法 (昭和 51 年法律第 72 号) 第 1 条第 2 項に規定する 1972 年 12 月 11 日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者又は令和 4 年 3 月までに授与される見込みの者
 - iv 文部科学大臣の指定した者 (平成元年文部省告示第 118 号) 【注 1】
 - ア 大学を卒業し、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
 - イ 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
 - v 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24 歳に達した者【注 1】

【注 1】： 出願資格③iv、③vにより出願する者は、「3 出願資格の認定 (書類審査)」を参照してください。

3 出願資格の認定 (書類審査) (該当者のみ)

上記「2 出願資格・要件」の③iv、③vで出願しようとする者は、出願に先立って出願資格審査を行いますので、下記の提出書類を提出期限までに提出してください。

なお、郵送の場合は必ず書留速達としてください。

提出書類	(1) 出願資格認定申請書 ※ (2) 最終学歴の卒業 (修了) 証明書 (3) 成績証明書 (履修状況を証明する書類) (4) 研究歴証明書 (研究期間, 研究内容は必ず記載) (5) 研究成果資料
提出期限	令和 3 年 11 月 4 日 (木)
提出・問合せ先	〒 080-8555 帯広市稲田町西 2 線 11 番地 帯広畜産大学 入試・教務課入学試験係

※ 出願資格認定申請書の様式は、本学ホームページに掲載しています。

帯広畜産大学 入試情報 <https://www.obihiro.ac.jp/grad-adm>

上記ウェブサイト内の「大学院入試」をご覧ください。

4 障がい等のある志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、障がい等のある者については、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、下記の期限までに事前相談を行ってください（日常生活において、ごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も試験場設定や他の特別な配慮との関係から必ず事前に相談してください）。

提出書類	(1) 事前相談書 ※ (2) 医師の診断書 (3) その他障がいの状況がわかる書類（障害者手帳の写し等）
提出期限	令和3年11月18日（木）
提出・問合せ先	〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地 帯広畜産大学 入試・教務課入学試験係

※ 事前相談書の様式は、本学ホームページに掲載しています。

帯広畜産大学 入試情報 <https://www.obihiro.ac.jp/admissions>

上記ウェブサイト内の「障がいのある志願者との事前相談」をご覧ください。

5 経済的支援制度について

2022年度留学生受入れ促進プログラム予約制度（文部科外国人留学生学習奨励費）

【対象者】本研究科に入学予定の、学業、人物ともに優れ、かつ、経済的理由により就学が困難である私費外国人留学生。その他条件については日本学生支援機構のホームページをご確認ください。

https://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/scholarships/shoureihi/tonichimaeyoyaku.html

【給付月額】48,000円

【支給期間】2022年4月から1年間

【応募方法】応募を希望する私費外国人留学生は、令和3年11月10日（水）までに下記連絡先までメールでご連絡ください。

【連絡窓口】学生支援課留学生係 メールアドレス：rgk@obihiro.ac.jp

6 出願手続

(1) 出願書類等

出願書類等		摘 要
1	入学志願票 受験票 写真票	*印欄以外の所定の欄はすべて記入してください。 写真(縦4cm横3cm)は、出願前3か月以内に撮影した上半身・無帽・正面向きのもので、裏面に志望専攻名・氏名を記入の上、写真票の所定の欄に貼ってください(受験時に眼鏡を使用する者は、必ず眼鏡を着用して撮影したものにしてください)。
2	検定料支払時の外国送金依頼書のコピー	検定料(30,000円)を金融機関で払い込み、外国送金依頼書のコピーを提出してください。払い込み方法は4ページの(2)を参照してください。
3	研究計画書	大学院において行おうとする研究内容を記載してください。作成要領は4ページの(3)を参照してください。
4	志望理由書	本学大学院を志望した理由並びに日本での留学経験を日本や母国にどのように活かしたいと考えているかについて、A4用紙1枚以内で、英語で作成してください。
5	修了証明書又は修了見込証明書	原本を提出してください。
6	成績証明書	原本で厳封したものを提出してください(出身大学及び出身大学院)。
7	推薦書	出身大学の長等の推薦書(任意様式、英語)で、人物、成績、課外活動、英語力等について記載されたものを提出してください。
8	TOEIC公式スコアレポート, TOEIC公式認定証, IELTS成績証明書	以下のうち、いずれか一つの原本を提出してください。平成31年4月1日以降に受験したものに限りません。 ・TOEIC L&R公式認定証(650点以上)(TOEIC-IPも可) ・TOEFL iBTスコアレポート(67点以上) ・IELTS Academic-moduleの成績証明書(5.5以上)

(2) **検定料 (30,000 円) の払い込み方法 (日本国外からの送金方法)**

金融機関で検定料：額面 30,000 円 (日本円) を次の要領に従って海外の金融機関より送金してください。

- ・電信送金
- ・振込方法：通知払
- ・支払銀行手数料：依頼人負担
- ・送金金額：30,000 円
- ・次の銀行口座に送金してください。

Receiving bank:

SHINKIN CENTRAL BANK
INTERNATIONAL OPERATIONS CENTER
SWIFT CODE: ZENBJPJT

Receiving bank's address:

8-1 KYOBASHI 3-CHOME, CHUO-KU, TOKYO JAPAN

Beneficiary's Account No:

0340900 with OBIHIRO SHINKIN BANK INADA BRANCH

Beneficiary's name:

OBIHIRO CHIKUSAN DAIGAKU

Beneficiary's Address:

11, NISHI 2, INADACHO, OBIHIRO, HOKKAIDO, 080-8555, JAPAN

- ・ **送金依頼書の連絡事項欄に必ず「PAYINFULL」と記入してください。**

検定料払込期間：令和3年11月1日(月)～令和3年11月18日(木)

※ 支払銀行手数料を含む全ての手数料は依頼人が負担してください。

注1：受理した検定料は返還できません。ただし、次の場合に限り、申出により検定料相当額を返還します。

- ア) 出願しなかった場合
- イ) 出願書類が受理されなかった場合
- ウ) 二重に払い込んだ場合

※ 返還に関する問い合わせ先 帯広畜産大学 入試・教務課入学試験係 TEL 0155-49-5321

注2：検定料が払い込まれていない場合は出願を受理できません。

(3) 研究計画書の作成要領

大学院で実施する研究について、主指導を希望する教員と必ず連絡を取って相談の上、作成してください。

英語で A4 版用紙で 2 枚程度で作成してください。

研究計画書には以下の 3 つの内容を明確に記すこと。

1. 研究の背景と目的 (詳細に記すこと)
2. 研究の方法概略 (技法等の詳細な記述は必要なく、研究全体の流れを簡潔に記すこと)
3. 予想される研究結果 (詳細な記述は必要なく、研究目的に沿って簡潔に記すこと)

研究計画書の様式は、本学ホームページに掲載しています。

帯広畜産大学 入試情報 <https://www.obihiro.ac.jp/grad-adm>

上記ウェブサイト内の「大学院」のページをご覧ください。

(4) 出願方法及び出願期間

必ず「EMS」若しくは「書留」のエアメール便扱いにしてください。

なお、出願期限後に到着した出願書類等は受理しないので、郵便事情等を考慮して余裕を持って発送してください。

出 願 期 間：令和3年11月8日(月)～令和3年11月18日(木) (最終日17時必着)

- (5) 出願書類等の提出先
 帯広畜産大学 入試・教務課入学試験係
 〒 080-8555 帯広市稲田町西2線11番地
 なお、出願書類等は、返還することができません。

7 入学者選抜方法

英語 (TOEFL, TOEIC 又は IELTS) 及び面接 (インターネットを利用。研究計画書, 志望理由書, 推薦書, 成績証明書の内容を考慮します) を総合して行います。

科目名	配点	内 容 等
英 語	100 点	TOEIC L&R (TOEIC-IP を含む) 650 点以上, TOEFL iBT 67 点以上, IELTS 5.5 以上のスコア票又は公式認定証 (平成31年4月1日以降に受験したものに限る。) を提出するものとし, 得点は本学の定める基準により 80~100 点で換算します。
オンライン面接	100 点	複数の面接官による個人面接を実施します (実施言語は英語で約 15 分)。

8 試験期日及び試験場

実 施 期 日	科 目 等	時 間
令和3年11月30日 (火)	オンライン面接	出願後に調整します

9 合格発表

- (1) 発表日時 令和3年12月7日 (火) 10:00
 本学ホームページに合格者の受験番号を発表します。(ホームページアドレスは10ページ参照)
 (2) 合格者には, 合格通知書及び入学手続きに必要な書類を送付します。
 (3) 電話等による可否に関する問い合わせには, 応じられません。

10 入学手続

- (1) 入学手続期間 令和4年3月7日 (月) ~3月22日 (火) (最終日17時必着)
 (2) その他の経費
 学生教育研究災害傷害保険料等 (正課・課外活動中における不慮の災害事故による学生の傷害に対する救済措置) 3,670 円

11 個人情報の取扱いについて

- (1) 本学が保有する個人情報は, 「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに, 「国立大学法人帯広畜産大学保有個人情報管理規程」に基づき, 保護に万全を期しています。
 (2) 出願時にお知らせいただいた氏名, 住所等の個人情報については, 入学者選抜, 合格発表, 入学手続, 入学者選抜方法等における調査・研究及びこれらに付随する業務を行うために利用します。
 (3) 入学者選抜で得られた試験成績の個人情報は, 入学者選抜及び入学者選抜方法等における調査・研究を行うために利用します。
 (4) 上記(2)及び(3)の個人情報のうち, 合格者のみ, 入学後の教務関係 (修学指導等), 学生支援関係 (奨学金申請・授業料免除申請等) に関する業務及びこれらに付随する業務を行うために利用します。なお, 合格者には入学手続時に改めてお知らせします。

帯広畜産大学大学院畜産学研究科畜産科学専攻（博士後期課程）案内

1 大学院畜産学研究科畜産科学専攻（博士後期課程） 教育ポリシー（方針）

○アドミッションポリシー（入学者受入方針）

帯広畜産大学大学院畜産学研究科畜産科学専攻（博士後期課程）では、「獣医・農畜産学融合」・「海外の大学との協力」による教育体制により、食と農のグローバル化を背景にした専門的知識及び創造性と優れた研究開発能力・教育能力を備えた豊かな人間力を持つ研究者・教育者を養成するため、以下のような人を学生として求めています。

1. 獣医学や農畜産学に関する国際的な視野を持って、高いコミュニケーション能力を身につけて国際水準の先端的な研究を展開できる教育者・研究者を目指す人
2. 獣医・農畜産学融合分野において自らの研究成果を社会に還元し、動物や人の健康、地球環境や生態系の保全、産業や生命科学の発展に中心的な役割を担い国内外を問わず社会貢献することに意欲のある人
3. 畜産科学専攻の特定分野に関する総合的な知識や先端的研究を探究したい人
4. 畜産科学専攻の特定分野に関する修士課程までの基礎知識と基礎的技術を身につけている人

○ディプロマポリシー（学位授与方針）

帯広畜産大学大学院畜産学研究科畜産科学専攻（博士後期課程）では、教育課程で定められた授業科目を履修して所定の修了要件単位を修得し、家畜生産科学、環境生態学、食品科学、農業経済学、農業環境工学、植物生産科学等の農畜産学分野及びその学際分野における最新の知識と技術を駆使した先端研究を担うため、以下の能力を身につけた人に学位を授与します。

1. 倫理観
 - ・家畜生産科学、環境生態学、食品科学、農業経済学、農業環境工学、植物生産科学、畜産衛生学、動物医科学の農畜産学分野における最新の知識と技術と生命現象や社会活動に対する深い理解に基づいた倫理観を身につけている人
2. 国際通用力・リーダーシップ
 - ・生体内部のミクロレベル、個体及び個体群を対象としたマクロレベル、さらに家畜生産を含めた広範囲な生命科学研究領域において国際水準の先端的研究ができる能力を身につけている人
 - ・生体内部、個体及び個体群を対象とした生態学的研究領域において国際水準の先端的研究ができる能力を身につけている人
 - ・農畜産物の加工・利用及びそれらの機能性・安全性についての高度な知識と技術及び国際水準の先端的研究ができる能力を身につけている人
 - ・国内外の資源を利用し、食料の生産性向上を支えるための農業経済に関する国際水準の先端的研究ができる能力を身につけている人
 - ・国内外の資源を利用し、食料の生産性向上を支えるための生産技術や環境制御に関する国際水準の先端的研究ができる能力を身につけている人
 - ・動物医科学に関する幅広い専門分野の知識を身につけ、国際水準の先端的研究ができる能力を身につけている人
3. 表現力・コミュニケーション能力
 - ・家畜生産科学、環境生態学、食品科学、農業経済学、農業環境工学、植物生産科学分野における専門性について、思考・判断の過程を説明するために国際通用性のあるプレゼンテーション能力及びコミュニケーション能力を身につけている人
4. 専門的知識・技術
 - ・家畜生産科学、環境生態学、食品科学、農業経済学、農業環境工学、植物生産科学分野における高度な知識と技術を身につけ、獣医学分野、農畜産学分野及びその学際分野に関する国際的な視野を持って、農畜産業のグローバル化に伴う多様な社会ニーズに対応できる実践力とリーダーシップを発揮し、国際水準の先端的な研究能力を身につけている人

○カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

帯広畜産大学大学院畜産学研究所畜産科学専攻（博士後期課程）ディプロマポリシーに掲げた知識・技能等を修得させるために、以下の点に配慮して教育を行います。

1. 研究者としての高度な倫理観の養成
eラーニングやアクティブラーニングを用いた、高度な倫理観を養成する科目を配置します。
2. リーダーシップの養成
・社会ニーズに対応できる実践力とリーダーシップを有する教育者・研究者を育成するために、高度な知識と技術を習得し、全体を統括できる能力を習得させる科目を配置します。
・優れた教育者・研究者になるために教育・研究スキルを実践的に修得できる科目を配置します。
3. 国際通用力の養成
・海外での活動を見据え、英語によるプレゼンテーション能力や、ディベート能力及び論文作成能力を高める科目を配置します。
・最先端の研究能力を修得するため、海外の大学との協力体制による研究インターンシップやフィールドワーク等の国際通用力を養成する科目を配置します。
4. 博士人材としての総合研究力の養成
獣医・農畜産融合の視点から、幅広く専門性の高い知識を分野横断的に修得するために共通科目を配置するとともに他専攻科目を選択科目として配置します。さらに地球規模課題の解決を目的として、国際水準の先端的な研究能力を修得するための科目を配置します。
5. 家畜の生体機能と生産・管理に関して、動物福祉や環境保全などの視点も取り入れた生命科学から生産科学までの広範かつ先端の知識と技術を学ぶための科目を配置します。
6. 食品安全マネジメントシステムや国内外における農畜産物の安全監視に関する高度な専門知識と獣医療・動物医学の優れた分析技術や家畜管理技術を生かし、食の安全や動物とヒトの健康に関する世界最先端の知識と技術を修得させる授業科目を配置します。
7. 成熟化した国際社会における動物福祉や環境保全を踏まえ、自然環境の構成員（野生動物、昆虫、植物）の役割・機能、相互作用及び生態系保全の両立に関する世界最先端の知識と技術を修得させる授業科目を配置します。
8. 農畜産物を原料とした食品の製造・加工及びこれらの機能性・安全性に関して、分子レベルから工業生産レベルまでの広範かつ世界最先端の知見と技術を学ぶための授業科目を配置します。
9. わが国の食料基地と位置づけられる北海道十勝地域の資源を活用し、持続可能な物質循環や地域資源を踏まえ、植物の生理、生態、遺伝や土壌に関する高度な知識をもとにした植物生産の量的・質的向上に関する世界最先端の知識と技術を修得させる授業科目を配置します。
10. わが国の食料基地と位置づけられる北海道十勝地域の資源を活用し、持続可能な物質循環や地域資源を踏まえ、食料生産に関わる経済学や経営学に関する世界最先端の知識と技術を修得させる授業科目を配置します。
11. わが国の食料基地と位置づけられる北海道十勝地域の資源を活用し、持続可能な物質循環や地域資源を踏まえ、機械的・生物的手法や土木技術手法による食料生産環境の改善に関する世界最先端の知識と技術を修得させる授業科目を配置します。

2 畜産衛生学位プログラムについて

畜産衛生学位プログラムとは、農作物・食品等の国境を越えた流通拡大を背景として企業等に求められている国際安全衛生基準の取得・維持に対応できる人材を育成するため、本学がこれまで旧畜産衛生学専攻において実践してきた「食の安全確保」に関する高度な専門教育を全専攻の学生が履修可能な学位プログラムとして発展させたものです。

このプログラムでは、農畜産物をはじめとする食の安全衛生に関するマネジメントシステム等の専門教育を国際基準に適応した実習環境において行うことにより、優れた実践力及び応用力を身につけた畜産衛生の専門家を養成します。

本プログラム受講者は、博士後期課程の共通必修科目、共通選択科目を履修の上、プログラム必修科目・選択必修科目を履修する必要があります。

注：本プログラム受講者は、各学年の始め・終了時に博士（農学）または博士（畜産衛生学）の学位選択を行います。

畜産衛生学位プログラム

○養成する人材像

畜産衛生学位プログラムにおいては、畜産衛生学に関する最先端の知識・技術を修得させる教育に加えて食品安全マネジメントシステムにおける HACCP 専門家教育をさらに発展した内部監査の手法等に関する教育を行うことで、畜産衛生学の国際的な研究者・高度専門家として活躍できる人材を育成します。

○ディプロマポリシー（学位授与方針）

「食の安全確保」を担う国際的な研究者としての幅広い知識を有し、優れた問題解決ができる能力を身につけている人に博士（畜産衛生学）の学位を授与します。

○カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

畜産衛生学位プログラムにおいては、畜産生産現場から食卓における衛生に主眼を置いた畜産衛生学に関する世界最先端の知識と技術を修得させる授業科目を配置します。

3 課程の修了及び学位の授与

本学大学院畜産学研究科畜産科学専攻（博士後期課程）に3年以上在学して所定の単位（通常の博士後期課程の場合は12単位以上、畜産衛生学位プログラムの場合は16単位以上）を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び論文関連科目の最終試験に合格した者を課程の修了者とし、「博士（農学）」又は「博士（畜産衛生学）」の学位を授与します（「博士（畜産衛生学）」については畜産衛生学位プログラムの修了者のみ選択可）。

ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、博士後期課程に1年以上（博士前期課程の在学年数によって異なります）在学すれば足りるものとします。

4 大学院畜産学研究科博士後期課程畜産科学専攻担当教員一覧

氏名	職名	研究分野	
		名称	内容
池田新矢	教授	食品・生物化学工学	食品の品質および構造機能相関に関する研究
※梅津一孝	教授	生物資源工学	畜産におけるエネルギー及び窒素循環の構築を目的とした高度エネルギー変換発酵法ならびに窒素化合物の利用法開発
大和田琢二	教授	応用微生物学	植物と微生物の共生に関する研究
押田龍夫	教授	野生動物学	哺乳類の生態学および系統地理学的研究
加藤清明	教授	植物分子育種学	植物育種における分子的基础と応用
※岸本正	教授	農業機械学	1) 農用車両走行装置の動力学的特性の解析 2) 家畜ふん尿の土壤還元技術に関する研究
木下幹朗	教授	食品機能学	食品成分中における機能性脂質の生化学的研究
口田圭吾	教授	家畜育種学	肉用牛の客観的評価値をベースとした統計遺伝学
小池正徳	教授	昆虫病理学	昆虫寄生性菌類による生物的防除
耕野拓一	教授	農業経済学	1) 経済疫学 2) 開発経済学 3) 畜産開発と貧困削減
島田謙一郎	教授	食肉科学	食肉科学に関する応用研究
仙北谷康	教授	農業経済学	1) 農場における衛生管理高度化の経済分析 2) 農産物流通の比較構造分析
谷昌幸	教授	土壌学	農耕地における土壌肥沃度の評価と改善に関する研究
手塚雅文	教授	生殖生理学	家畜の卵巣生理、卵子成熟、受精、胚発生に関する研究
西田武弘	教授	家畜飼養学	反芻家畜の栄養生理および飼料評価
平田昌弘	教授	牧野生態学・文化人類学	1) 乾燥地での牧野生態学と環境保全の研究 2) 乾燥地での牧畜生業と乳文化論の研究
宮本明夫	教授	家畜繁殖学	受胎性に関わる免疫機能：精子・初期胚と母体の生殖器官のクロストーク
宗岡寿美	教授	農業農村工学	1) 農林地流域の河川水質環境と土地利用評価 2) 斜面の保全と緑化工技術の応用
渡辺純	教授	食品機能学	食品の健康機能性発現機構に関する研究

※印の教員は定年のため、指導可能期間が令和5年3月31日までとなりますので、入学後の指導体制について事前に相談してください。

氏名	職名	研究分野	
		名称	内容
秋本 正博	准教授	植物育種学 進化遺伝学 生態遺伝学	1) 食用作物, および飼料作物の遺伝的な特性の改良 2) 植物の進化経路の解析, 集団の遺伝構造の解析 3) 植物の生命現象の生態学的・遺伝学的解析
Acosta Ayala Tomas Javier	准教授	家畜生産学・家畜防疫	家畜防疫学・現場における牛生産性効率の向上
岩本 博幸	准教授	農業経済学	1) 農業環境の経済評価研究 2) 畜産業における外部不経済の内部化に関する研究 3) 地域資源評価に関する研究
大西 一光	准教授	植物育種学	作物の量的形質に関する遺伝育種学的研究
川島 千帆	准教授	家畜栄養学・繁殖学	1) 周産期の栄養代謝状態と繁殖機能に関する研究 2) 妊娠期の母体と胎子の栄養代謝に関する研究
木村 賢人	准教授	農業気象学	1) 雪氷冷熱を利用した農業施設に関する研究 2) 冷熱資源の分布特性とその利用適地に関する研究
草場 信之	准教授	家畜衛生学 子防獣医学	1) 家畜衛生学 (子牛の管理、疾病予防および治療) 2) 乳房炎防除 (予防と治療)
熊野 了州	准教授	昆虫生態学	昆虫の行動生態学および個体群生態学
菅原 雅之	准教授	応用微生物学	醸造微生物と植物共生細菌に関する研究
瀬尾 哲也	准教授	家畜行動学・ アニマルウェルフェア	家畜の行動およびアニマルウェルフェアに関する研究
中村 正	准教授	酪農科学	乳の加工・利用に関する応用研究
萩谷 功一	准教授	家畜育種学	量的遺伝学を基礎とした乳用牛の遺伝的改良
韓 圭鎬	准教授	食品科学	生物資源の健康機能性に関する研究
福田 健二	准教授	食品科学	乳タンパク質および乳酸菌の機能性に関する研究
松長 延吉	准教授	家畜生理学	成長に関する代謝ホルモン, 血液中間代謝物
宮竹 史仁	准教授	生物資源循環工 学	堆肥化およびバイオマス資源循環に関する理論と技術
山内 健生	准教授	昆虫分類学	1) 昆虫標本を活用した分類学の研究 2) 昆虫を用いた環境評価に関する研究 3) 衛生害虫に関する研究

出願書類の提出・問い合わせ先

〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地
 帯広畜産大学 入試・教務課入学試験係
 TEL 0155-49-5321 (入学試験係直通) (月～金 8:30～17:15)
 E-mail nyushi@obihiro.ac.jp

帯広畜産大学ホームページのご案内

ホームページには、入試情報、各専攻の紹介、大学の概要等が載っています。
 アドレスは、次のとおりです。 <https://www.obihiro.ac.jp/>

1. Number of Students to be Admitted

Program	Number of students to be admitted
	Pre-Arrival Admission for International Students
Doctoral Program of Animal Science and Agriculture	Limited

2. Application Criteria

To apply for the Pre-Arrival Admission for International Students, one must meet the criteria ①, ② and ③

- ① Those who don't hold Japanese nationality and reside abroad.
- ② Those who took any of the following exams, TOEIC L&R (including TOEIC-IP): 650 or higher, TOEFL iBT: 67 or higher, and IELTS Academic-Module: 5.5 or higher, after April 1, 2019.
- ③ A person who meets one of the items i~iii below.
 - i. Those who have been awarded a master's degree or a degree related to professional studies, or are expected to do so on or before March 31, 2022.
 - ii. Those who have been awarded outside Japan a master's degree, or a degree related to professional studies that is prescribed by Article 5-2 of the Regulations of Degrees (Educational Ministerial Ordinance No. 9, 1953), which is based on Article 104, Section 1 of the School Education Law, or are expected to do so on or before March 31, 2022.
 - iii. Those who completed a program of the United Nations University, which was established based on the United Nations General Assembly Resolution dated December 11, 1972, which is prescribed by Number 1, Item 2, of the Act on Special Measures Incidental to Enforcement of the Agreement between the United Nations and Japan regarding the Headquarters of the United Nations University (Act No. 72 of 1976), and were awarded a master's or equivalent degree, or are expected to do so on or before March 31, 2022.
 - iv. Those who are deemed eligible by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology (Bulletin No. 118, Ministry of Education, 1989) : [Note]
 - a. Those who graduated from a college and engaged in research at a college or a laboratory for 2 years or more, and who are, for their research results, recognized by the Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine Graduate School as having equal to or higher academic ability than a holder of a master's degree are eligible.
 - b. Those who completed 16 years of school education abroad or by taking a correspondence course in Japan conducted by a school outside of Japan, and have engaged in research for 2 years or more, and who are, for their research results, recognized by the Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine Graduate School as having equal to or higher academic ability than a holder of a master's degree are eligible.
 - v. Those who are 24 years old or older, and recognized in the preliminary selection by the Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine Graduate School as having equal to or higher academic ability than a holder of a master's degree or a degree related to professional studies. [Note]

Note : Applicants who satisfy criteria ③ iv or ③ v above need to refer to “3. Authorization for Qualified Applicants” on page 12.

3. Authorization for Qualified Applicants (If applicable)

Those who will apply under the application criteria ③ iv or ③ v have to be authorized as qualified applicants. Submit the documents in the table below by the deadline. If you send the documents by mail, use registered express mail.

Documents to submit	(1) Application form for qualified applicant authorization* (2) Graduation/completion certificate from the last school you attended (3) Academic transcript (4) Research certificate (including period of time and contents of your research) (5) Materials from research results
Deadline	Thursday, November 4, 2021
Submit to:	Entrance Examination Office Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine 11 Nishi 2, Inadacho, Obihiro, Hokkaido 080-8555, Japan

*The application form for the authorization for qualified applicants is available on our website at <https://www.obihiro.ac.jp/en/grad-adm>

4. Advance Consultation for Applicants with Physical Disabilities

Applicants with physical disabilities are advised to consult with the Entrance Examination Office by the deadline below, as special consideration may be necessary for taking the examination or studying. Those who use a hearing aid, crutches, or a wheelchair are also advised to consult the Entrance Examination Office, as special arrangements at the examination sites and other locations may be necessary.

Documents to submit	(1) Application for Consultation * (2) Medical Certificate (3) Other documents that show the conditions of disabilities (e.g., a copy of the disability certificate)
Deadline	Thursday, November 18, 2021
Submit to:	Entrance Examination Office Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine 11 Nishi 2, Inadacho, Obihiro, Hokkaido 080-8555, Japan

*The application form for consultation is available on our website at <https://www.obihiro.ac.jp/en/grad-adm>

5. Financial Support

The Monbukagakusho Honors Scholarship for Privately-Financed International Students 2022

【Eligibility】 Privately-financed international students with excellent academic and character records who are planning to enrolled in graduate school and are facing financial difficulties. For other requirement, please see the website of Japan Student Services Organization (JASSO).

https://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/scholarships/shoureihi/tonichimaeyoyaku.html

【Monthly stipend】 48,000 yen per month

【Scholarship period】 1 year (From April 2022 to March 2023)

【Method of application】 Please contact the section in charge below by Wednesday, November 10, 2021.

【Contact】 Student Services Section, International Student Affairs. Email: rgk@obihiro.ac.jp

6. Application Procedure

(1) Application documents

Application documents		Summary
1	Application form, Exam admission card, and Photograph card	Fill out the prescribed form except columns marked with. * The photo (4 cm high x 3 cm wide) must have been taken within 3 months prior to application. The portrait must be a full face, front view, without a hat, and wearing glasses if you expect to do so at the exam. Write your full name and the Program you are applying for on the back of the photo and glue it to the designated spot.
2	A photocopy of the Telegraphi Transfer Application Form	The amount of 30,000 yen for the examination fee must be transferred from a financial institution. A photocopy of the Telegraphic Transfer Application Form must be submitted with the application documents. See (2) Examination fee on Page 14.
3	Research proposal	Describe the research you intend to do in the Doctoral Program. See (3) Guideline of research proposal on Page 14.
4	Statement of purpose	Describe why you chose our Doctoral Program and what kinds of things do you think you can contribute to Japan and your home country through your experience of studying in Japan within one A4 sheet in English.
5	Certificate of graduation, or certificate of expected graduation of a Master's program	Must be original.
6	Academic transcript	Records of undergraduate and graduate school, which should be original and sealed
7	Letter of recommendation	Should be described applicant's personality, grades, extracurricular activities, English proficiency, etc. by dean or person of equivalent status in college you attended.
8	TOEFL Examinee Score Reports or TOEIC Official Score Certificate or IELTS Test Report Form	Submit the original certificate of one of the following exams. The test score must be after April 1, 2019. TOEIC L&R (including TOEIC-IP): 650 or higher TOEFL iBT: 67 or higher IELTS Academic-Module: 5.5 or higher

(2) Examination fee (Remittance from abroad)

The amount of 30,000 yen for the examination fee must be transferred from a financial institution following the instructions below.

- Telegraphic transfer
- Advise and pay
- Applicant pays the transaction charge
- Amount: ¥30,000(yen)
- Transfer to:

Receiving bank:

SHINKIN CENTRAL BANK
INTERNATIONAL OPERATIONS CENTER
SWIFT CODE: ZENBJPJT

Receiving bank's address:

8-1 KYOBASHI 3-CHOME, CHUO-KU, TOKYO JAPAN

Beneficiary's Account No:

0340900 with OBIHIRO SHINKIN BANK INADA BRANCH

Beneficiary's name:

OBIHIRO CHIKUSAN DAIGAKU

Beneficiary's Address:

11, NISHI 2, INADACHO, OBIHIRO, HOKKAIDO, 080-8555, JAPAN

- Put “PAY IN FULL” in the “Message to payee” space in the remittance application form.

Payment Period: From Monday, November 1, 2021 to Thursday, November 18, 2021

***All handling fees including transaction charges are to be paid by the applicant.**

Note1: The examination fee is not refundable for any reason except the following:

- The applicant has failed to submit his or her application form by the prescribed date, or his or her application form has been rejected by the University.
- The applicant has paid the examination fee twice.

A request for a refund should be made promptly.

*For further information about the refund, contact:

Entrance Examination Office
Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine
E-mail: nyushi@obihiro.ac.jp

Note2: An application will be rejected if the examination fee is not paid.

(3) Guideline of research proposal

You must consult your prospective supervisor before making the research proposal. The proposal must include the following three points in English, on A4 sheets, 2 pages maximum:

1. Background and purposes of the research (in detail)
2. Outline of research method (You do not need to describe research techniques in detail. Just briefly explain the outline of the whole research procedure.)
3. Expected research results (Detailed description is not necessary. Briefly describe expected results in context of the research purposes.)

*The form for the research proposal is available on our website at <https://www.obihiro.ac.jp/en/grad-adm>

(4) Application method and application period

Enclose all the application documents in the envelope and send it by mail.

The documents must be sent by EMS or registered special delivery mail. **The documents have to arrive by 17:00 on the last day of the application period.** Documents arriving later than this will not be accepted, so be sure to send them early enough to avoid postal delays.

Application Period : From Monday, November 8, 2021 to Thursday, November 18, 2021

(5) Submit the application documents to:

Entrance Examination Office,
Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine
11 Nishi 2, Inadacho, Obihiro, Hokkaido 080-8555, Japan

Note: The application documents will not be returned.

7. Method of Selection

Results from English and interview (about the research proposal, statement of purpose, the academic transcript and the letter of recommendation) will be examined.

Description	Allotment of marks	Summary
English	100	Submit the original certificate of one of the following exams. 80-100 points are given according to our graduate school regulation. The test score must be after April 1, 2019. TOEIC L&R (including TOEIC-IP): 650 or higher TOEFL iBT: 67 or higher IELTS Academic-Module: 5.5 or higher
Online Interview	100	Personal interview in English by multiple interviewers from the Specialty (about 15 min)

8. Time and Date of Examination

Date	Description	Time
Tuesday, November 30, 2021	Online Interview	To be arranged after application

9. Notification of Admission

(1) Schedule : 10:00 a.m., Tuesday, December 7, 2021

The code numbers of accepted students are displayed on the website (<https://www.obihiro.ac.jp/en>).

- (2) The notification of admission and the documents necessary for enrollment procedures are sent to the admitted students.
- (3) Telephone enquiries regarding admission are not accepted.

10. Enrollment Procedures

(1) Enrollment period : From Monday, March 7, 2022 to Tuesday, March 22, 2022

***The documents have to arrive by 17:00 on the last day.**

- (2) Fee for disaster/accident insurance for students in education/research: 3,670 yen
(Insurance for accidental injury in University activities)

11. Privacy Statement

- (1) Any personal information we acquire is strictly protected under the "Law on Protection of Personal Information Held by Independent Administrative Agencies" and the "National University Corporation Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine Management Regulations of Personal Information."
- (2) Personal information such as your name and address that is sent during the application process is used for selection, notification of admission, enrollment procedures, survey and research on selection methods and additional procedures.
- (3) Personal information such as the examination results acquired in the process of selection is used for survey and research on selection and selection methods.
- (4) For successful applicants only, personal information mentioned above in (2) and (3) is also used for the purposes of school affairs (e.g., study guidance) and student support (e.g., scholarship application and tuition exemption application) after entering Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine.

Description of the Doctoral Program
Animal Science and Agriculture
Graduate School of Animal and Veterinary Sciences and Agriculture
Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

1. Education Policy of the Doctoral Program of Animal Science and Agriculture

Admission Policy

The Doctoral Program of Animal Science and Agriculture at the Graduate School of Animal and Veterinary Science and Agriculture, utilizing its educational systems, which involve “fusion of veterinary medicine, animal science and agriculture” and “cooperation with overseas universities,” aims to develop educators and researchers who, while keeping globalization of food and agriculture in mind, have technical knowledge, creativity, excellent research and development skills, and excellent educational abilities as well as great personality. For that purpose, we want students:

1. Who aim to be educators and researchers who can conduct international-standard, advanced research with global views on veterinary medicine, animal science and agriculture, and who have good communication skills,
2. Who are eager to contribute to society domestically and globally by giving back to society their research results in the field where veterinary medicine, animal science and agriculture are fused, and by playing a central role in maintaining animal and human health, conserving the global environment and ecosystem, and developing industries and life science,
3. Who want to pursue comprehensive knowledge and advanced research in a specific area of the animal science and agriculture program, and
4. Who have acquired basic knowledge and skills up to the master’s level in a specific area of the animal science and agriculture program.

Diploma Policy

In the Doctoral Program of Animal Science and Agriculture, the degree shall be conferred on persons who have taken the courses set up in the curriculum and obtained the required credits to complete the program, and have acquired the following skills that enable them to shoulder advanced research using their up-to-date knowledge and skills in the fields of animal science and agriculture such as animal production, ecology and environmental science, food science, agricultural economics, engineering for agriculture, plant production science, and interdisciplinary fields:

1. Ethics
 - Ethics based on up-to-date knowledge and skills in the fields of animal science and agriculture such as animal production, ecology and environmental science, food science, agricultural economics, engineering for agriculture, plant production science, animal and food hygiene, and veterinary life science, and interdisciplinary fields, and based on deep understanding of life phenomena and social activities
2. International competence and leadership
 - Abilities to conduct international-standard, advanced research in a wide range of fields of the life sciences including the intravital micro-level, the macro-level dealing with individuals and populations, and animal production.
 - Abilities to conduct international-standard, advanced research in the field of ecological research dealing with the inside of organisms, individuals and populations.
 - Advanced knowledge and skills, and abilities to conduct international-standard, advanced research on processing and utilization of agricultural and livestock products, and their functionality and safety.
 - Abilities to conduct international-standard, advanced research on agricultural economy in order to improve productivity of food production utilizing domestic and overseas resources.
 - Abilities to conduct international-standard, advanced research on production techniques and environmental control in order to improve productivity of food production utilizing domestic and overseas resources.
 - A wide range of technical knowledge on veterinary life science, and abilities to conduct international-standard, advanced research.

3. Communication skills

- Internationally competent presentation skills and communication skills necessary to explain their process of thinking and making judgments with regard to their specialty in the fields of animal production, ecology and environmental science, food science, agricultural economics, engineering for agriculture, and plant production science.

4. Technical knowledge and skills:

- Advanced knowledge and skills on animal production, ecology and environmental science, food science, agricultural economics, engineering for agriculture, and plant production science, global views with regard to the fields of veterinary medicine, animal science and agriculture, and their interdisciplinary fields, practical skills and leadership to meet various social needs according to the globalization of agricultural and livestock businesses, and international-standard, advanced research skills.

Curriculum Policy

In order to have the students acquire knowledge and skills specified in the diploma policy, we conduct education paying attention to the following points:

1. Developing a high-level of ethics as a researcher:

- We offer courses to develop a high-level of ethics using e-learning and active learning.

2. Developing leadership:

- We offer courses for students to acquire advanced knowledge and skills, and an ability to manage the whole in order to develop educators and researchers with practical skills and leadership, which enable them to satisfy social needs.

3. Developing international competence:

- We offer courses that enhance skills for presentation, debate and academic writing for students to play an active role globally in the future.
- We offer courses to develop international competence such as research internships and fieldwork in cooperation with overseas universities for students to acquire advanced research skills.

4. Developing comprehensive research abilities as a doctor:

- We offer common courses as well as selective courses from other degree programs for students to acquire a wide range of highly technical knowledge interdisciplinarily from the viewpoint of fusing veterinary medicine, animal science and agricultural studies.
 - We offer courses for students to acquire international-standard, advanced research skills that aim to resolve global issues.
5. We offer courses for students to acquire a wide range of advanced knowledge and skills from life science to production science with regard to biofunction and production and management of domestic animals while keeping animal welfare and environmental conservation in consideration.
6. We offer courses for students to acquire the globally most advanced knowledge and skills on food safety and animal and human health, involving highly advanced knowledge on food safety management systems and domestic and overseas safety monitoring of agricultural and livestock products, and excellent analysis and livestock management techniques in veterinary medicine and veterinary life science.
7. We offer courses for students to acquire the globally most advanced knowledge and skills on the roles, functions, and interactions of the components of the natural environment (wild animals, insects and plants), and the compatibility of ecosystem conservation, taking into account animal welfare and ecological conservation in the matured global community.
8. We offer courses for students to acquire the globally most advanced knowledge and skills on food production and processing from agricultural and livestock ingredients, and on the functionality and safety of these products, from the molecular level to industrial production level.
9. We offer courses for students to acquire the globally most advanced knowledge and skills on the quantitative and qualitative improvement of plant production based on advanced knowledge of plants' physiology, ecology and heredity as well as soil, taking sustainable recycling and local resources into account, and utilizing resources of Tokachi, Hokkaido, which is regarded as Japan's principal food production base.

10. We offer courses for students to acquire the globally most advanced knowledge and skills on economics and business studies related to food production, taking sustainable recycling and local resources into account, and utilizing resources of Tokachi, Hokkaido, which is regarded as Japan's principal food production base.
11. We offer courses for students to acquire the globally most advanced knowledge and skills on the improvement of food production environment by mechanical, biological, and civil engineering methods, taking sustainable recycling and local resources into account, and utilizing resources of Tokachi, Hokkaido, which is regarded as Japan's principal food production base.

2. Graduate Degree Program of Animal and Food Hygiene

The Graduate Degree Program of Animal and Food Hygiene has been established to train persons who can deal with the acquisition and maintenance of international safety and hygienic standards, which businesses are demanded to meet, as distribution of agricultural products and food beyond nation boundaries is expanding. The program has been developed by making highly professional education on securing food safety into a graduate degree program that students of any of the Specialties can take.

The program trains animal and food hygiene specialists with abilities for practice and application, by conducting professional education on management system for safety and hygiene of agricultural products and other foods in a practical environment that meets international standards.

Students who take this program must take the required and elective courses of this specific program in addition to the required courses and elective courses common in the doctoral program.

Note: Students in this program are to choose the Doctoral Degree in Agriculture or the Doctoral Degree in Animal and Food Hygiene when they have completed each academic year.

Graduate Degree Program of Animal and Food Hygiene

Persons We Train

By conducting education on internal auditing methods, which is further development from professional education on the HACCP system in food safety management systems, in addition to education for students to acquire the most advanced knowledge and skills on animal and food hygiene, we develop international researchers and advanced specialists on animal and food hygiene.

Diploma Policy

The degree shall be conferred on persons who have acquired a wide range of knowledge and excellent abilities to resolve issues as international researchers who shoulder responsibility of securing food safety.

Curriculum Policy

We offer courses for students to acquire the globally most advanced knowledge and skills on animal and food hygiene focusing on hygiene all the way from livestock production sites to dining tables.

3. Completion of programs and awarding degrees

Students are awarded the Doctoral Degree in Agriculture or the Doctoral Degree in Animal and Food Hygiene (the Doctoral Degree in Animal and Food Hygiene can be awarded to those who completed the Graduate Degree Program of Animal and Food Hygiene), after they complete the program, i.e., those who have been enrolled in the Doctoral Program of Animal Science and Agriculture of the Graduate School of Animal and Veterinary Science and Agriculture of our university for three years or longer, and have earned the required credits (12 credits for the regular doctoral program, 16 credits for the Graduate Degree Program of Animal and Food Hygiene), who received the necessary research instruction, and passed the examination of their doctoral thesis in addition to the final examinations of the courses relevant to the thesis.

However, for those who achieved excellent results, the period enrolled in the graduate school could be shortened to one year.

4. Supervisors

Name	Position	Field of Research	Contents
Shinya Ikeda	Professor	Food and Biochemical Engineering	Food quality and structure–functionality relationships
*Kazutaka Umetsu	Professor	Bioprocess Engineering	In order to establish an energy and nitrogen recycling system for livestock farming, I conduct research on advanced fermentation methods to convert energy and develop of methods to utilize nitrogenous compounds.
Takuji Ohwada	Professor	Applied Microbiology	Symbiotic relationship between plant and microorganism
Tatsuo Oshida	Professor	Mammalogy	Ecological and phylogeographical studies of wild mammals
Kiyoaki Kato	Professor	Plant Molecular Breeding	Molecular basis and applied studies on plant breeding
*Tadashi Kishimoto	Professor	Agricultural Machinery	1) Dynamics of traction device of agricultural vehicle 2) Development of application technology for dairy manure slurry
Mikio Kinoshita	Professor	Food Functional Chemistry	Food biochemistry of functional lipids
Keigo Kuchida	Professor	Animal Breeding	Statistical genetics for beef cattle based on objective measurements
Masanori Koike	Professor	Insect Pathology	Biological control using entomopathogenic fungi
Hiroichi Kono	Professor	Agricultural Economics	1) Economics and Epidemiology 2) Development Economics 3) Livestock Development and Poverty Reduction
Kenichiro Shimada	Professor	Meat Science	Applied studies on meat science / meat processing
Yasushi Sembokuya	Professor	Agricultural Economics	1) Economic analysis on the development of farm level hygiene management 2) Comparative analysis on the distribution system of agricultural products
Masayuki Tani	Professor	Soil Science	Evaluation and improvement on soil fertility in arable land
Masafumi Tetsuka	Professor	Reproductive Physiology	Studies on ovarian physiology, oocyte maturation, fertilization and embryo development in domestic animals
Takehiro Nishida	Professor	Animal Feeding	Nutritional physiology and feed evaluation in ruminants
Masahiro Hirata	Professor	Rangeland Ecology Culture Anthropology	1) Study on rangeland ecology and environmental conservation in dry areas 2) Study on subsistence and milk culture of pastoralists in dry areas

The Professor marked with * will retire on March 31, 2023. If you would like to be supervised by him/her, please consult in advance about research instruction.

Name	Position	Field of Research	Contents
Akio Miyamoto	Professor	Animal Reproduction	Immune system for regulating fertility: a cross-talk between sperm/embryo and maternal genital tract
Toshimi Muneoka	Professor	Irrigation, Drainage and Rural Engineering	1) River water quality and land use in agricultural and forest watersheds 2) Slope conservation and revegetation technology
Jun Watanabe	Professor	Food Functional Chemistry	Mechanistical studies on functionalities of food resources
Masahiro Akimoto	Associate Professor	Crop Science	Improvement of cultivation methods of common food crops and fodder crops.
Acosta Ayala Tomas Javier	Associate Professor	Animal Production Animal Disease Control	Improving efficiency dairy and beef cattle production. Herd health management.
Hiroyuki Iwamoto	Associate Professor	Agricultural Economics	1) Economic Valuation of the Agricultural Environment 2) Research on internalization of external diseconomies in the livestock industry 3) Research on local resource evaluation
Kazumitsu Onishi	Associate Professor	Plant Breeding	Genetic studies on quantitative traits in crop species
Chiho Kawashima	Associate Professor	Animal Nutrition And Reproduction	1) Study on metabolic status and reproductive function during the peripartum period. 2) Study on nutritional and metabolic status of dam and fetus.
Masato Kimura	Associate Professor	Agricultural Meteorology	Use of cold energy from natural ice
Nobuyuki Kusaba	Associate Professor	Animal Hygiene Dairy Production Medicine	1) Animal Hygiene: Disease control of calves 2) Mastitis Control: Prevention and therapy
Norikuni Kumano	Associate Professor	Insect Ecology	Behavioral Ecology, Population Ecology
Masayuki Sugawara	Associate Professor	Applied Microbiology	Studies on brewing microorganisms and plant symbiotic bacteria
Tetsuya Seo	Assistant Professor	Animal Behavior Animal Welfare	Studies on animal behavior and animal welfare
Tadashi Nakamura	Associate Professor	Dairy Science	Applied studies on utilization and processing of dairy products
Koichi Hagiya	Associate Professor	Animal Breeding	Genetic improvement of dairy cattle based on quantitative genetics
Kyu-ho Han	Associate Professor	Food Science	Research for bioresources on health-function
Kenji Fukuda	Associate Professor	Food Science	Studies on functionalities of milk proteins and lactic acid bacteria

Name	Position	Field of Research	Contents
Nobuyoshi Matsunaga	Associate Professor	Animal Physiology	1) Study on metabolic hormones related to growth 2) Study on intermediate blood metabolites
Fumihito Miyatake	Associate Professor	Bioresource Engineering	Theoretical and technological studies on composting and biomass
Takeo Yamauchi	Associate Professor	Systematic Entomology	1) Taxonomic study using insect specimens 2) Evaluation of environment using insects as bioindicators 3) Medical and veterinary entomology

Application and enquiries

Entrance Examination Office,
Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine.
11 Nishi 2, Inadacho, Obihiro, Hokkaido 080-8555, Japan
Tel: (0)155-49-5321 (direct line) (8:30 a.m. – 5:15 p.m., Monday – Friday)
E-mail: nyushi@obihiro.ac.jp

Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine Website

Visit our website for further information on admission, faculties and outline of the Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine.

<<https://www.obihiro.ac.jp/en>>